



小峰だより

第216号

6月

小峰ふれあい自然郷(都立小峰公園)は、都立秋川丘陵自然公園のほぼ中央部に位置し、谷戸田、せせらぎ、桜尾根、雑木林で成り立ち、里山の景観を残す魅力的な公園です。その中心施設である小峰ビジターセンターは、秋川丘陵自然公園の中心的な活動拠点です。

発行者：小峰ビジターセンター
発行日：令和8年6月1日

季節のみどころ ～この時季、スタッフおすすめの自然～

あ お だ い し ょ う

アオダイショウ

～緩やかな弧の梁～



獲物を狙い、その一瞬を待つ
アオダイショウ

「うちは昔、お蚕^{かいこ}やってたもんで、繭^{まゆ}とか、麦や芋などの畑^{はたけ}のもん、蔵^{くら}に入れておくでしょ。するとネズミが来て、悪さするんです。アオダイショウはそのネズミ、狙^{ねら}ってるんでしょうなあ。家の者^{もの}からしたら、財^{さい}を守る蔵^{くら}の番人^{ばんにん}ってことになる。昔から蔵^{くら}にいるヘビは“家の守り神”って、言われますから。でも神様^{かみさま}って言っても、傍^{そば}にいたら、あまり気持ちいいもんじゃないですよ、大きなヘビ^{へび}なんて。今も天井^{てんじょう}の梁^{はり}の隅^{すみ}から、こっち、見てるかもしれませんね。うるさい奴^{やつ}らが来たなって、ねえ」

薄ら明^{うすあかり}かりの土蔵^{どくら}の中。緩やかな弧^かの梁^{はり}。それ自体^{それ}が、大蛇^{おおいへび}の腹^{はら}のようにも見えていた。

ガガッ、ゴゴゴゴロッ。恰幅^{かつぶく}の良い家主^{かみ}が重厚^{どこう}な土蔵^{どくら}の扉^{かど}に手を掛^かけた。木製の内戸^{うちど}を開くと土埃^{つちぼこり}のような匂^{にお}い。そう、田舎^{いなか}の物置^{もの置き}によくある、時間の止まった静かな匂^{にお}いに包まれた。

「埃^{ちり}っぽいですけど、どうぞ。ええ、どこかにいると思いますよ、大きいのが」

古^{いにしえ}より蔵^{くら}の中には、大蛇^{おおいへび}、アオダイショウが棲^{すま}みつ、その家^{いえ}を守ると言われる。

「おとなしいのは知^しってますが、人に掴^{つか}まれるのはイヤみたいですね。掴^{つか}むと噛^かみついてきますよ。棒^{ぼう}でもって『あっち、行きな！』って退^ひけても、いつのまにか蔵^{くら}の中^{うち}に入^いって来^きてます。壁^{かべ}でも柱^{はしら}でも、スルスルっと登^{のぼ}る」



アオダイショウ(青大将)

体長2mに近づく無毒^{むどく}の大蛇^{おおいへび}。くすんだ緑^{きよ}色^{いろ}だが、稀^{まれ}に青味^{あおあじ}がかった個体^{こたい}も現^{あらわ}れる。人を襲^襲うことはなく穏^{おだ}やかな性^{せい}質^{しつ}。逆に人^{ひと}の生活^{せいかく}環境^{かんげい}を利用^{りよう}して生^なきることも。



土蔵侵入へのカラクリ

重厚^{どこう}な扉^{かど}、壁^{かべ}にも関わらず動物^{どうぶつ}が侵入^{しゆい}する。実は構造^{こうぞう}上^{じょう}、土蔵^{どくら}の屋根^{やね}には隙^{ひま}間^{かん}が存在^{そんざい}する。



受難^{じなん}！ ハツカネズミ

握^{にぎ}り拳^{こぶし}大^おの家系^{けい}ネズミ^{ねずみ}。蔵^{くら}中^{うち}で穀^{こく}類^{るい}や繭^{まゆ}の蛹^{さなぎ}を食^くう。アオダイショウには丸^{まる}呑^のみにされる！

里山季節めぐり *要申込

『竹の写真立てづくり』

～思い出の1枚を飾ろう!～

6月14日(日) 9:40～14:20

初夏の小峰公園で自然観察を楽しみながら写真を撮影。傑作の1枚を自作の写真立てに飾ります。

会場: 都立小峰公園

対象者: 小学生以上の方

(小学生の参加には、
保護者の同伴が必要です)

参加費: 50円/一人あたり

募集人数: 10名

(応募多数の場合は抽選)

申込締切: 6月5日(金)



里山の生きもの調査隊 *要申込

『夏のチョウを探そう』

7月19日(日) 9:30～14:30

小峰公園内を散策し、どのような里山環境に夏のチョウが棲息しているのか、調査します。

会場: 都立小峰公園

対象者: 小学生以上の方

(小学生の参加には、
保護者の同伴が必要です)

参加費: 50円/一人あたり

募集人数: 15名

(応募多数の場合は抽選)

申込締切: 7月10日(金)



※募集要件の詳細、申し込み方法などは、ホームページやチラシをご参照ください。

※都合により、内容の変更または催行を中止する場合があります。

こんなことありました!

【おいしい野菜づくり】 4月5日(日)

●種芋って何? 植えつけ・種まき体験

はらはらと桜散る中、公園の畑は夏に向けての野菜づくり開始です。硬くなっていた土に鍬を入れ、ジャガイモを植え、枝豆の苗づくりをしました。



土だらけの畑も、緑に変わるよ!

【谷戸田の稲作2026】 4月12日(日)

●粃まき、田おこし

新緑に包まれた谷戸田で、今シーズンもお米づくりの始まりです。鍬を握り、田んぼの土を崩します。つづけて、苗代では、稲苗づくりの粃まきです。



ほら、お父さんより上手いでしょ

★夏祭りから春祭りへ 八坂神社例大祭

4月25、26日

～里山暮らしから環境問題が見える～

小峰公園の在る、あきる野市留原集落で、八坂神社例大祭が執り行われました。かねてより晩夏に行われてきた地元の祭禮でした。が! 酷暑、炎暑というような気候変動等の影響により、留原の夏祭りは春祭りへ。祭禮行列も春の集落を行きました。いつか「この祭り、昔は汗ダクだったねえ」と懐かしむのでしょうか。

のらぼう菜の花咲き、こいのぼり泳ぐ、春の日でした。



※小峰だより206号「一枚の写真から」も併せてどうぞ!
バックナンバーはホームページにて掲載中

小峰ビジターセンター

〒190-0152

東京都あきる野市留原284-1

TEL:042-595-0400

● 開館 9:00～16:30

● 休館日 月曜日(祝日の際はその翌平日、
ただし夏休み期間を除く)、
年末年始



小峰公園HP



X(旧Twitter)

発行者: 小峰ビジターセンター

指定管理者:



公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association